

「阿部野橋ターミナルビルタワー館（仮称）」ホテル計画において マリオット・インターナショナルとの提携を決定

～平成26年春、関西初のマリオットブランド「大阪マリオット都ホテル」が誕生～



近鉄では、平成26年春のオープンを目指し、高さ日本一となる300mの超高層複合ビル「阿部野橋ターミナルビルタワー館（仮称）」（地下5階、地上60階）の建設工事を鋭意進めています。

当社では、大阪阿部野橋駅直上・関西国際空港に直結という抜群のロケーションと日本一の高さを誇り、「大阪の南の玄関」「大阪のランドマーク」としての機能を有する当ビルにふさわしい、国際的ホテルブランドの誘致を進めてまいりましたが、このたび、世界71の国や地域で約3,600軒のホテル施設を展開し、世界屈指のホテル運営会社であるマリオット・インターナショナルと提携することで合意しました。

また、当社とマリオット・インターナショナルは、ホテル名称を「大阪マリオット都ホテル」として、当社グループのブランドである都ホテルと、マリオットホテルのダブルブランドで運営することを決定しました。

今回の提携により、マリオットブランドの国内進出は、名古屋、沖縄に次いで3軒目で、関西では初となります。

世界中に張り巡らされた送客ネットワークと、国際的に高いブランド力を誇るマリオット・インターナショナルとの提携により、外国人旅客の増加が見込めるとともに、阿部野橋ターミナルビルのポテンシャルと魅力が大きく向上するものと確信しております。

施設計画等の詳細は別紙のとおりです。



「大阪マリオット都ホテル」ロビーイメージパース

1. 名称

「大阪マリオット都ホテル」

2. ホテルコンセプト

宿泊機能を重視し、充実した付帯サービスを提供する高品質な国際的都市型ホテル

- ・都ホテルズ&リゾーツが持つ日本のおもてなしと、マリオット・インターナショナルの世界水準のホスピタリティの融合。
- ・客室面積は約40㎡を基本とし、全客室のバスルームに洗い場を設けるなど、ゆったりとご宿泊いただける客室設計。
- ・快適なご滞在をサポートする、ビジネスセンター、トレーニングジム、会議室等、充実した付帯サービスを提供。
- ・客室階の一部をエグゼクティブフロアとし、専用のラウンジスペースを設けるなど、ハイグレードなおもてなしを提供。
- ・ホテル最上階の57階には、最高層階ならではの眺望をお楽しみいただけるレストランを開設。

3. ホテル施設概要

- | | |
|----------|--|
| (1) 所在地 | 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 |
| (2) 規模 | 延床面積 約32,000㎡ (ビル延床面積 約212,000㎡) |
| (3) 客室数 | 376室 |
| (4) 付帯施設 | レストラン、ロビーラウンジ、エグゼクティブラウンジ、会議室、パーティールームほか |
| (5) 階層 | 57階 レストラン
38-55階 客室 (38階にエグゼクティブラウンジ)
20階 会議室、パーティールーム
19階 フロントロビー、ロビーラウンジ、レストラン
1階 エントランス |
| (6) 事業方式 | 経営主体：近畿日本鉄道株式会社
ホテル運営者：株式会社近鉄ホテルシステムズ
提携先：マリオット・インターナショナル.Inc |

4. マリオット・インターナショナル.Inc の概要

マリオット・インターナショナルは世界有数の宿泊・各種住宅サービスを行う会社であり、世界71の国や地域で約3,600軒の施設を運営しています。本社は米国メリーランド州ベセスダ、従業員は約129,000人。主なホテルブランドとして、「ザ・リッツカールトン」「JWマリオット・ホテル&リゾート」「マリオット・ホテル&リゾート」「ルネッサンス・ホテル&リゾート」などがあります。www.marriott.co.jp

5. マリオット・インターナショナル.Inc 代表者コメント

President&Managing Director Asia-Pacific Simon F. Cooper

(アジア太平洋地区社長兼マネジングディレクター サイモン F クーパー)

「日本国内にまた1軒ホテルをつくることを発表でき嬉しい限りです。また、(近鉄ホテルシステムズという)このような素晴らしいパートナーと仕事を共にできることは光栄の至りです。今回のホテルは、大阪で高さを更新するばかりでなく、新たな基準を設定することにもなりますので、日本においてこのような開発の一端を担うことを誇りに思います。」

6. 今後の予定

平成26年 春 開業

以上

(参考) 阿部野橋ターミナルビルタワー館 (仮称) 計画概要

1. 阿部野橋ターミナルビル整備計画について

施設名称：阿部野橋ターミナルビルタワー館 (仮称)

所在地：大阪市阿倍野区阿倍野筋 1 丁目 1-43

開業予定：平成26年春

敷地面積：約28,700㎡

延床面積：約212,000㎡ (既存建物と合わせて約306,000㎡)

高さ：300m、地下5階・地上60階

用途：百貨店 (約83,000㎡)、オフィス (約62,000㎡)、
ホテル (約32,000㎡)、美術館、展望台

設計：株式会社竹中工務店

外観デザイン設計：シーザー・ペリ氏 (ペリ クラーク ペリアーキテクト代表)

施工：竹中工務店、奥村組、大林組、大日本土木、銭高組共同企業体



「阿部野橋ターミナルビルタワー館 (仮称)」
完成後イメージパース

2. フロア構成

「大阪マリオット都ホテル」



ホテルロビー

都市型美術館

(展示室面積：約1,000㎡)

収蔵品を持たず、企画展を中心とする都市型美術館。日本美術から西洋近代絵画まで幅広い分野のアートを展示。



美術館



360度見渡せる屋外展望台

ビルの最上層に位置する展望台は、地上約300mに浮かんだ空中回廊。58階は、吹き抜けを採用した開放的な憩いの空間に。



展望台

最先端オフィス

(ワンフロア：730坪 天井高：2.9m)
大阪でも有数の規模に加え、最先端設備を兼ね備えたワンランク上のオフィススペース



オフィス

日本一の営業面積を誇る百貨店

(営業面積：約100,000㎡)

日本一の営業面積を生かし、コミュニティ機能とエンタテインメント機能を併せ持つ、「都心型複合百貨店」



百貨店

